

北陸地方整備局
記者発表・資料配付

・記者発表	平成19年4月9日
・資料配付	17時00分
日時	

件名	3月25日9時42分頃能登半島沖で発生した地震の状況 (第26報)
----	--------------------------------------

取り扱い	発表をもって解禁
------	----------

発表先	石川県政記者クラブ 富山県政記者クラブ
-----	------------------------

発表概要	平成19年3月25日9時42分頃石川県能登地方で震度6強の地震が発生したため、北陸地方整備局では非常体制に移行し、管内の点検、応急復旧、地方自治体への支援等を実施中です。 <u>4月10日からは、輪島市の災害復旧事業費申請の支援を開始します。</u> また、現在の被災状況等は別紙のとおりです。
------	--

問い合わせ先	北陸地方整備局 TEL (代表) 025-280-8880
	所属 氏名 電話 災害広報官 (企画課長) 清水将之
注意：『非通知』設定では着信できません	

北陸地方整備局災害対策状況（第26報）

平成19年4月9日17時00分現在
下線が前報との変更点

1. 北陸地方整備局災害対策状況

- ・国土交通省北陸地方整備局は、3月25日9:42に非常体制を発令し、「北陸地方整備局平成19年（2007年）能登半島地震災害対策本部」を設置。
- ・管内全事務所で地震災害の体制を、非常体制から警戒体制、注意体制に移行または解除したことから3月26日14:40警戒体制に移行。災害支援の非常体制は継続中。
- ・金沢営繕事務所は、管内の官庁施設において応急処置が行われ、概ね業務に支障ないと把握できたため、4月5日8:45に注意体制に移行した。
- ・国土交通省北陸地方整備局は、3月28日（水）15時に輪島市役所敷地内に災害対策本部車2台を配備し、「平成19年能登半島地震による災害対策現地支援センター」を設置。
- ・「平成19年能登半島地震による災害対策現地支援センター」の当面の支援活動として道路関係災害の緊急調査を実施。
- ・4月10日～4月15日の間、輪島市の災害復旧事業費申請を支援するため、11班集体で計75名を派遣する。（各班毎に防災エキスパート1名を含む、詳細は別紙参照）

【25日～30日の対応】

※内容を確認されたい方は、整備局HPをご覧ください。

アドレス http://www.hrr.mlit.go.jp/saigai/H190325/0325_top.html

2. 北陸地方整備局 所管施設関係 総括情報

3月25日9時42分に発生した地震（M6.9 能登地方 震度6強）に係る管内の状況

◆河川関係

- ・石川県、富山県の直轄河川の詳細点検を実施し異常なし。
- ・補助河川は、26日より詳細点検を実施し、輪島市・八ヶ川で5箇所において護岸欠損、天端陥没、樋管損傷、於古川（志賀町）護岸・天端クラック1箇所、長曾川（羽咋市）護岸・天端クラック2箇所を発見。八ヶ川、長曾川については29日に災害緊急調査を終了。梅雨期迄に本復旧完了を目指す。
- ・直轄ダム、補助ダム、利水ダムの点検対象99施設について点検を終了し、異常なし。

◆砂防関係

<県の対応>

石川県：被害箇所数

	河道埋塞	がけ崩れ	地すべり	崩土	施設被災	計
輪島市	2	<u>17(5)</u>	<u>6(1)</u>	8(1)	4	<u>37(7)</u>

七尾市	—	3	—	8	—	11
珠洲市	—	6	1	2	—	9
志賀町	—	5	—	1	—	6
能登町	—	1	—	—	—	1
計	2	<u>32(5)</u>	<u>7(1)</u>	19(1)	4	<u>64(7)</u>

※()は避難している箇所数(内数)

富山県：富山市寺津で擁壁裏亀裂が発生したが復旧完了

<直轄管内>

○直轄砂防管内等点検を実施

- ・金沢河川国道事務所：点検を完了。異常なし。
- ・立山砂防事務所：点検を完了。異常なし。
- ・黒部河川事務所：点検を完了。異常なし。
- ・松本砂防事務所：点検を完了。異常なし。
- ・湯沢砂防事務所：点検を完了。異常なし。
- ・神通川水系砂防事務所：点検を完了。異常なし。
- ・阿賀野川河川事務所：点検を完了。異常なし。

◆海岸関係

- ・石川県内の海岸については、直轄海岸点検の結果異常なし。補助海岸は30日までに点検を完了。6箇所の施設に軽微な被災があった。
- ・富山県内の海岸については、直轄補助とも点検の結果異常なし。

◆道路関係

- ・25日18：11の余震(震度5弱)の影響について、能越自動車道能登空港IC～穴水IC、国道159号、160号の巡視点検を実施した結果、余震による被災はなし。
- ・26日7：16の余震(震度4)の影響について、能越自動車道能登空港IC～穴水IC、国道159号、160号の巡視点検を実施した結果、余震による被災はなし。
- ・26日14：46の余震(震度5弱)の影響について、能越自動車道能登空港IC～穴水ICの巡視点検を実施した結果、余震による被災はなし。
- ・主要地方道七尾能登島公園線能登島大橋等の橋梁について、3月27日に復旧工法の検討のため、国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人土木研究所の専門家を派遣。
- ・28日8：08の余震(震度5弱)の影響について、能越自動車道能登空港IC～穴水ICの巡視点検を実施した結果、余震による被災はなし。
- ・28日13：05の余震(震度4)の影響について、能越自動車道能登空港IC～穴水ICの巡視点検を実施した結果、余震による被災はなし。
- ・輪島市道の被災状況を把握する緊急調査は、29日までに37路線92箇所の現地調査を実施。新たに3班を増強し30日までに現地調査完了。
- ・引き続き被災箇所の整理を行い、31日13：30に調査成果をとりまとめ、31日14：00に輪島市災害対策本部へ調査成果(被災箇所約270箇所)を引き渡した。
- ・調査には、3日間で延べ151名を派遣。
- ・6日15：18の余震(震度4)の影響について、直轄国道、補助国道、県道の巡

視点検を実施した結果、余震による被災はなし。

- ・ 6日、輪島市の要請により、復旧方法等に関する技術的助言を行うため、被害が甚大である輪島市道の道下深見線に対して、独立行政法人土木研究所の専門家1名を派遣し、あわせて同路線の災害復旧に向けた支援のため、北陸地方整備局職員5名を派遣。輪島市はその助言を受け応急復旧策をとりまとめた。
- ・ 7日10：00より、輪島市は市道道下深見線の応急復旧に向けた工事に着手。

道路種別	管理機関	全面通行止め箇所数	片側交互通行箇所数	通行止め解除箇所数
直轄国道	金沢河川国道事務所	0	0	1
補助国道 ^{※1}	石川県（公社含む）	1	6	3
県道 ^{※2}	石川県（公社含む）	3	3	14
	富山県	0	0	2
計		4	9	20

※1 補助国道には、能越自動車道（徳田大津IC～田鶴浜IC）を含む

※2 県道は、主要地方道と一般県道及び能登有料道路の合計

●通行止め区間

管理機関	路線名	場所	被災概要
石川県道路公社	能登有料道路	横田IC～穴水IC	崩土
		徳田大津IC～横田IC	崩土
石川県	国道249号	輪島市町野町曾々木	落石
	（主）輪島浦上線	輪島市大沢町内	落石のおそれ

◆港湾関係

- ・ 26日、石川県及び富山県の港湾施設の被害状況を把握するため、国土交通省国土技術政策総合研究所港湾施設研究室・独立行政法人港湾空港技術研究所構造振動研究室が専門家を現地に派遣、調査を実施。
- ・ 27日、七尾港において金沢港湾・空港整備事務所が岸壁の変状を確認するため潜水調査を実施。異常なし。
- ・ 29日、石川県内の被災港湾施設の復旧に向けた技術支援を行うため、新潟港湾空港技術調査事務所より職員を派遣し、七尾港・和倉港についての現地調査を実施。
- ・ 30日、穴水港・輪島港について現地調査を実施。
- ・ 被災状況の緊急調査の結果、直轄施設では七尾港の係留施設・保管施設・埠頭用地各1箇所、管理者施設では富山県管理で臨港交通施設1箇所、石川県管理で外郭施設15箇所・係留施設22箇所・港湾環境整備施設1箇所、港湾管理施設1箇所、船舶役務用施設1箇所、荷捌き施設4箇所、保管施設6箇所、臨港交通施設14箇所、七尾市管理で外郭施設4箇所・係留施設3箇所・保管施設1箇所・臨港交通施設・荷捌き施設各1箇所の被災であった。
- ・ 石川県土木部港湾課及び七尾市からの要請により、4月5日から当面の間、港湾空港部の職員を現地支援センターに1名、七尾に2名を派遣し災害復旧業務の技術支援を実施する。
- ・ 4月5日、七尾市役所で石川県・七尾市と打ち合わせを実施。七尾市より和倉港の被災状況の説明を受けた後、現地調査を実施した。
- ・ 4月6日、昨日に引き続き和倉港、七尾港、輪島港、穴水港の現地調査を実施した。

※被災施設の概要については第24報（4月5日17：00）の状況より変更無し。

内容を確認されたい方は、整備局HPをご覧ください。

アドレス http://www.hrr.mlit.go.jp/saigai/H190325/070325_24th.pdf

◆空港関係

- ・25日、石川県の要請を受けて、能登空港の復旧工法を検討するため、国土交通省国土技術政策総合研究所空港施設研究室長を派遣。

管理機関	場所	被災概要	今後の見通し
石川県	能登空港	滑走路・誘導路に多数の亀裂を確認。 26日3時ぎ 応急復旧工事終了。 7:07 封鎖解除 8:00 供用再開	

◆下水道関係

- ・石川県内の処理場4箇所、管渠等5市町で被災。
応急処置が必要な箇所の仮復旧実施。

※被災施設の概要については第24報（4月5日17:00）の状況より変更無し。
内容を確認されたい方は、整備局HPをご覧ください。

アドレス http://www.hrr.mlit.go.jp/saigai/H190325/070325_24th.pdf

◆官庁施設関係（税務署、国の合同庁舎等）

- ・石川県・富山県内の18施設で、ガラスの割れ、仕上げ材損傷等軽微な被害。
応急処置が必要な箇所は、処置済み。

※被災施設の概要については第24報（4月5日17:00）の状況より変更無し。
内容を確認されたい方は、整備局HPをご覧ください。

アドレス http://www.hrr.mlit.go.jp/saigai/H190325/070325_24th.pdf

◆公営住宅関係

- ・輪島市、七尾市、志賀町、穴水町の公営住宅等の10団地で被災。
今後、補修する予定。

※被災施設の概要については第24報（4月5日17:00）の状況より変更無し。
内容を確認されたい方は、整備局HPをご覧ください。

アドレス http://www.hrr.mlit.go.jp/saigai/H190325/070325_24th.pdf

◆公園関係

- ・輪島市(1)、七尾市(4)が管理する5箇所で被災。立ち入り禁止等の応急措置実施。

※被災施設の概要については第24報（4月5日17:00）の状況より変更無し。
内容を確認されたい方は、整備局HPをご覧ください。

アドレス http://www.hrr.mlit.go.jp/saigai/H190325/070325_24th.pdf

3. その他

◆孤立集落

- ・輪島市門前町深見（ふかみ）地区で37世帯87名、同市門前町六郎木（ろくろぎ）地区で8世帯16名が集落に通じる市道が被災し、孤立状態となったが、25日17時現在、深見地区は崩壊した市道を避けて船舶により避難が完了、六郎木地区は市道を塞いでいた倒木を処理し車両にて避難が完了。

◆孤立者

- ・能登有料道路「別所岳サービスエリア」に取り残された137名については、25日17：20七尾市中島支所へ移動完了

◆簡易トイレ

- ・輪島市の要請を受け、災害協力協定団体の日本道路建設業協会等に仮設トイレ提供を要請し、30基を26日17：30に設置済み。（①輪島市ふれあいセンター5基、②門前町総合支所25基）

「北陸地方整備局災害対策車両等の活動状況」

平成19年4月9日17時00分現在
下線が前報との変更点

・北陸地方整備局では、現地情報収集及び復旧支援のため災害対策本部車3台、衛星通信車2台及び待機支援車2台を石川県輪島市へ派遣するとともに、地方自治体からの応援要請により、照明車6台、衛星通信車2台、遠隔操縦式バックホウ2台が一般国道249号及び能登有料道路の被災箇所稼働しています。

また9日、新たに遠隔操縦式バックホウ1台を石川県輪島市へ派遣しました。(10日以降稼働予定)

日	派遣先	派遣車両等	目的	備考
25日 ↳	輪島市役所 「災害対策現地支援センター」 25日 9:12 設営、運用開始 (現在：稼働中)	災害対策本部車 2台 衛星通信車1台 待機支援車2台	情報収集 現地職員の 休憩等	
28日 ↳	国民宿舎「輪島荘」 「道路関係災害緊急調査員詰所」 28日 17:40 設営、運用開始 31日 14:00 撤去 " 15:20 能登空港待機 <u>9日 10:40 衛星通信車稼働開始</u>	災害対策本部車 1台 衛星通信車1台	情報収集	
26日 ↳	一般国道249号（打越） 26日 17:50より夜間作業支援開始 輪島市深見地先で夜間作業 支援中 (昼間は能登空港で待機) (現在：稼働中)	照明車1台	夜間作業支 援	
26日 ↳ 28日	一般国道249号（洪田） 26日 18:25 より夜間作業支援開始 輪島市洪田地先で夜間作業 支援 27日 4:55 八世乃洞門へ移動、夜 間監視（照明）支援 28日 6:45 作業終了、能登空港で 待機	照明車1台	夜間作業支 援	
26日 ↳	一般国道249号（大野） 26日 17:55より夜間作業支援開始 輪島市大野地先で夜間作業 支援 5日 5:30 作業終了	照明車1台	夜間作業支 援	

	1日 16:00より情報通信支援（追加配備） （現在：稼働中）	衛星通信車1台	情報伝達	
27日 ↷	一般国道249号（曾々木） 「八世乃洞門」崩壊現場 27日 11:25より情報通信支援 （現在：稼働中）	衛星通信車1台	情報伝達 （崩壊現場状況通信のため）	
4日 ↷	4日 9:10 新潟防災センター、富山防災センターより各1台 出発 4日 15:40 富山防災センターより 1台、現地到着。 4日 16:35 富山防災センターより 1台、現地到着。 <u>（現在：稼働中）</u>	遠隔操縦式バックホウ 2台	復旧作業	
25日 ↷ 29日	石川県道路公社 25日 19:50 新潟防災センター出発 26日 9:00より「能登有料道路」 高架橋点検実施 29日 15:40作業終了、富山防災センターで待機	橋梁点検車1台	災害対応支援	
6日 ↷	石川県道路公社 6日 11:50 照明車2台、石川県道路公社に到着。 6日 14:10 照明車1台、石川県道路公社に到着。 <u>7日 12:40 照明車2台、石川県道路公社に到着。</u>	照明車 <u>5台</u>	夜間作業支援	
<u>9日</u>	<u>輪島市門前町深見</u> <u>9日 13:12 上越防災支援センターより出発</u>	遠隔操縦式バックホウ 1台		
25日 ↷	輪島市門前町鹿磯 映像配信中 <u>9日 輪島市門前町深見に移動</u> （現在：映像配信中）	Ku-SAT1台 （衛星小型画像伝送装置）	情報伝達	

※富山防災センター：富山県富山市

上越防災センター：新潟県上越市

新潟防災センター：新潟県新潟市

平成19年4月9日17時00分現在

1. 北陸地方整備局災害体制状況

- ・国土交通省北陸地方整備局は、3月25日9時42分に非常体制を発令。
- ・管内全事務所で非常体制から警戒体制、注意体制に移行または解除したことから3月26日14:40警戒体制に移行。災害支援の非常体制は継続中。

2. 北陸地方整備局管内各事務所の防災体制状況

北陸地方整備局管内の各事務所の防災体制は次のとおりである。

=は体制解除又は体制緩和

県名	事務所・ダム管理所等	防災体制状況		
石川県	金沢河川国道事務所	注意	警戒	非常
	金沢港湾・空港整備事務所	注意	警戒	非常
	金沢営繕事務所	注意	警戒	非常
北陸地方整備局管内各防災体制別事務所数		<u>1</u>	<u>2</u>	0

防災体制状況においての各体制の基準は以下のとおり。

体制基準（地震災害時）	
注意体制	震度4の地震により大きな被害が発生した場合
警戒体制	震度5弱又は5強の地震が発生した場合
非常体制	震度6弱以上の地震が発生した場合

体制基準（災害支援時）	
注意体制	○地整所管区域内の直轄以外の施設等で災害が発生し、情報収集を行う必要がある場合 ○地方自治体等より支援要請があり、情報収集を行う場合
警戒体制	○地方自治体等より支援要請があり、職員等の継続的な活動を伴う支援を行う場合 ○地震災害で本部が警戒体制を発令した場合
非常体制	○被害が甚大で大規模な自治体支援が必要になる場合 ○地震災害で本部が非常体制を発令した場合

災害復旧事業費申請支援開始します

1. 目的

「平成19年（2007年）能登半島地震」による甚大な被害により、被災地域の各自治体においては、復旧・復興に向け住民の安全確保、生活支援等の業務に追われ、公共土木施設の復旧事業費申請に係る業務の執行が困難な状況に陥っている。そのため石川県からの要請に基づき、国土交通省北陸地方整備局は、災害復旧事業費の申請に関わる作業を支援するため職員等を派遣します。

2. 支援内容

- 災害復旧事業費の申請書の基礎資料の作成
 - ・被災箇所現地調査（申請写真撮影、測量）
 - ・申請書類作成（設計、積算）

3. 支援対象

- 輪島市が管理する公共土木施設

4. 支援体制

- 本部班6名（※防災エキスパート1名含む）
- 連絡調整班3名
- 作業班6名／1班×11班 66名
（防災エキスパート11名含む）

5. 支援期間

- 平成19年4月10日（火）13時～平成19年4月15日（日）12時

※防災エキスパート

地震、風水害などの大規模災害時に、被害状況把握や地域の災害復旧活動に公共土木施設の整備、管理等に長年携わった人にボランティアとして協力頂く制度として平成8年に発足したものです。

〈主な業務〉

- ・公共土木施設や市街地などの被災状況のモニター
- ・公共土木施設、建物、地すべり等の被災状況調査等
- ・災害対策本部等への支援等